FUJIFILM

使用説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書には、フジフイルム インスタントカメラ instax 210の使い方がまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

Printed in China　　BB11908-200　FPT-901203-Ni-01

FUJIFILM

保証書

製品名　インスタントカメラ instax 210

ご購入年月日　　年　　月　　日

お名前　　様　TEL

ご住所

店名印

製品保証規定

1. 保証の内容
   ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社修理サービスセンターにお届けください。無料で修理いたします。
   なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、ご購入店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましても一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1．の保証規定は適用されません（修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします）。
   イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
   ロ. 保証書にご購入年月日、購入店名が記入されていない場合、または記載事項を改ざんされた場合。
   ハ. 富士フイルム修理サービスセンター以外で分解、修理されたもの。
   ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
   ホ. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
   ヘ. 本体に付帯している付属品類（ストラップなど）および消耗品（電池類など）。
   ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
   チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など）の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

● 本保証書は、前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これにより弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
● 本保証書の表示についてご不明な点は、右記の弊社問い合わせ先へご相談ください。
● 本保証書は紛失されても再発行いたしません。

このようなときは…

ホームページの『Q&A』もご参照ください。
http://fujifilm.jp/support/

■撮影中このようなときは…

このようなときは	このようなことが考えられます	こうしてください
シャッターが切れない。	①電池が消耗している。 ②電池の入れ方が間違っている。 ③フラッシュ充電中表示ランプ（赤）が点灯している。 ④電源ONで、何も操作をしないで5分以上放置していた。 ⑤フィルムカウンターが“0”になっている。	①電池を交換します。 ②電池を正しく入れてください。 ③消えるまでお待ちください。30秒以上消えない場合は電池を交換してください。 ④POWERボタンを押して、電源を入れてください。フラッシュ充電中表示ランプ（赤）が点灯後、消えれば撮影できます。 ⑤フィルムパックを取り出し、新しいフィルムパックを入れてください。
フィルムが入らない、またはスムーズに入らない。	①撮影しようとしているフィルムパックがこのカメラに適合しない。 ②入れ方が正しくない。	①フジフイルム インスタント カラーフィルム instaxを使用します（他のフィルムは使用できません）。 ②フィルムパックの黄色の線とカメラの位置合わせマーク（黄）を合わせて入れます。
フィルムカバーまたはフィルムが送り出されない。	●電池が消耗している。	●電池を交換します。

■仕上がった写真がこのようなときは…

このようなときは	このようなことが考えられます	こうしてください
出来上がった写真が白っぽい。	①濃淡コントロールが［LIGHTEN］にセットされている。 ②撮影時の温度が低い（5℃以下）。 ③背景が被写体より暗すぎる。 ④AE受光窓、またはフラッシュ受光窓をふさいでいた。	①濃淡コントロールを［NORMAL］にセットします。 ②撮影前のカメラを暖かい場所に置いてから撮影してください。送り出された写真をポケットの中などで温めます。 ③濃淡コントロールを［DARKEN］にセットします。 ④AE受光窓、フラッシュ受光窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。
出来上がった写真が暗い。	①濃淡コントロールが［DARKEN］にセットされている。 ②撮影時の温度が高い（40℃以上）。 ③逆光で撮影した。 ④フラッシュ発光部がふさがれている。 ⑤背景が被写体より明るすぎる。 ⑥フラッシュの光が届かない。 ⑦鏡やガラスなどによるフラッシュ反射光の影響を受けている。	①濃淡コントロールを［NORMAL］にセットします。 ②カメラを涼しい場所に置いてから撮影してください。また、送り出された写真を熱いものの上や近くに置かないでください。 ③順光撮影を行うか、フラッシュ強制発光モードでフラッシュ撮影を行ってください。 ④カメラの構え方に注意してください。 ⑤濃淡コントロールを［LIGHTEN］にセットします。 ⑥被写体から0.9～3mの範囲に近づいて撮影します。 ⑦鏡やガラスに対して斜め方向から撮影します。
画面がぼんやりしている。	①撮影距離が近すぎる。 ②撮影距離の設定が適切でない。 ③撮影レンズが汚れている。 ④手ブレのため。	①0.9m以上離れて撮影します。 ②被写体の距離に合わせて撮影距離をセットします。 ③弊社修理サービスセンターにご相談ください。 ④カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。
画面にむらがある。	①取り出してすぐ写真に圧力が掛かった。 ②写真がスムーズに送り出されなかった。	①画面内を押さえたり、曲げたりしないでください。 ②フィルム出口を指などでふさがないでください。

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
●この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警　告	⚠注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警　告

絶対に分解しないでください。感電の原因になります。

落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する原因になります。

カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になります。

引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になります。

カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する原因になります。

電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になります。

指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

カメラや付属の接写レンズを通して太陽を見ないでください。失明の原因になります。

⚠注　意

カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。

自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

カメラや付属の接写レンズを太陽光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が集光した場合には高温になり、発火ややけどの原因になる恐れがあります。

このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルム修理サービスセンターに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、右に記載の富士フイルム修理サービスセンターをご利用ください。

●無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」に該当する場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

●修理不能
浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店か富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルム修理サービスセンターで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは6,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルム修理サービスセンターで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障
本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
3. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
4. 汚れをふきとるのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。
6. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
7. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
8. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、1分以上おいてから再度入れ直してください。
9. このカメラの使用温度範囲は＋5℃～＋40℃です。

■フィルム、写真の取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをおすすめします（詳しくは各空港でご確認ください）。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

＊外から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、富士フイルム修理サービスセンターにご相談ください。

主な仕様

使用フィルム	フジフイルム インスタントカラーフィルム instax
画面サイズ	62mm×99mm
レンズ	沈胴式レンズ　2群2枚構成　f＝95mm　1：14
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー　0.52倍　ターゲットマーク付き
撮影範囲	電動2点切り替え式（0.9m～3m／3m～∞）　撮影範囲：0.9m～∞
シャッター	プログラム式電子シャッター　1/64秒～1/200秒
露光調節	自動調節　連動範囲：LV10.5～15（ISO 800）　露光補正（濃淡コントロール）：±2/3EV
フィルム送り出し	電動式
フラッシュ	低輝度自動発光フラッシュ（自動調光）　充電時間：0.2秒～4秒（新品電池使用時） フラッシュ充電中表示（赤LED点灯）　強制発光可能　フラッシュ撮影距離：0.9m～3m
液晶表示	フィルムカウンター（残数表示式）　撮影距離指標　濃淡コントロール指標　フラッシュ強制発光
電源	単3形アルカリ電池（LR6）1.5V 4本　撮影可能パック数：約10パック（当社試験条件による）
その他	フィルムパック確認窓付　簡易接写レンズ同梱
大きさ・質量（重さ）	178.5mm×94.5mm×117.5mm　610g（電池、ストラップ、フィルム、簡易接写レンズ別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

FUJIFILM　　富士フイルム株式会社

●本製品のお問合せ先
富士フイルムPIサポートセンター
ナビダイヤル　0570-00-1080
⇒呼び出し音の前にNTTより通信料の目安をお知らせします。
受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：40（土日祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
▶ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、
0228-35-1063にお願いします。

●本製品の修理受付窓口
富士フイルム修理サービスセンター
ナビダイヤル　0570-00-0081
⇒呼び出し音の前にNTTより通信料の目安をお知らせします。
FAX　0570-06-0070
受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：40/土曜日　10：00～17：00
（日祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
▶ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、
0228-35-3586にお願いします。
▶ 修理品を持参または送付される場合は、http://fujifilm.jp/support/ をご覧ください。

●富士フイルム製品のお問合せ先
富士フイルム株式会社
お客様コミュニケーションセンター　03-5786-1711
〒107-0052　東京都港区赤坂9丁目7番3号
富士フイルムホームページ：http://fujifilm.jp/

各部の説明

フィルム出口
☞撮影済みのフィルムが送り出されます。
＊指などでふさがないでください。

フラッシュ発光部
☞暗いところでは自動的に発光します。

ストラップフック

シャッターボタン
＊フラッシュ充電中はシャッターは切れません。

電池ぶた

フラッシュ受光窓
＊指やストラップでさえぎらないでください。

ファインダー

AE受光窓
＊指やストラップでさえぎらないでください。

撮影レンズ／レンズカバー
☞POWERボタンや撮影距離切り替えボタンを操作すると動きます。
＊無理な力や落下などによる強いショックを与えないでください。

裏ぶたロック

フラッシュ充電中表示ランプ（赤）
☞フラッシュ充電中に点灯します。

ファインダー接眼部
＊ファインダー内の○が中央に見えるように入れます。

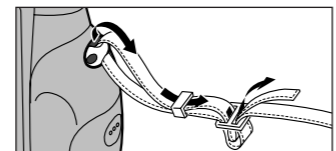
フィルムパック確認窓
＊フィルムパックが入っていると黄色の線が見えます。

裏ぶた

液晶表示部（フィルムカウンター／各種設定表示）
POWER（電源）ボタン
撮影距離切り替えボタン
濃淡コントロール切り替えボタン
フラッシュ強制発光ボタン

■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

1 はじめに

1 ストラップフックにストラップを通します。

反対側も同じように取り付けます。
＊落下防止のため、運搬時、撮影時はストラップを首からかけてください。

2 電池をセットします。

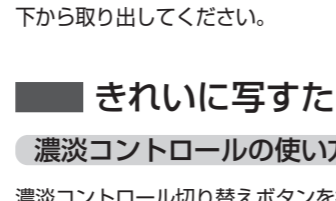
ふたを開けます。

⤵方向にふたを開けます。

電池を入れます。

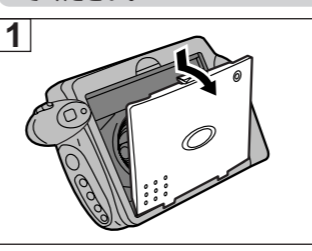
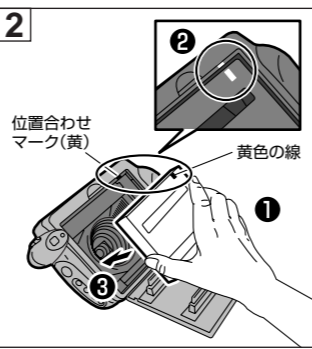
⊕⊖の方向を表示に合わせて上から入れます。

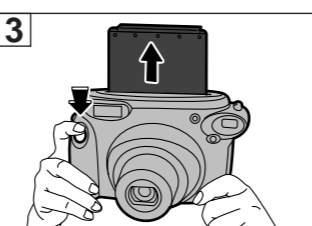
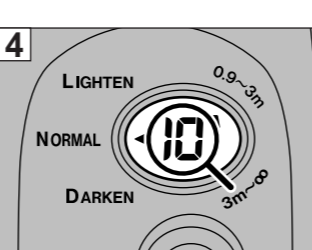
ふたを閉めます。

⤴方向にふたを閉めます。

電池を取り出すときは…

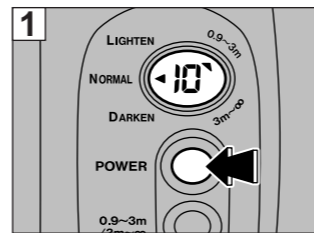
下から取り出してください。

2 フィルムパックを入れます

電池が入っていることを確認してから、直射日光を避けて行ってください。

1 裏ぶたロックを押し下げて、裏ぶたを開けます。

2 ❶フィルムパックの左右を持ちます。
❷フィルムパックの黄色の線とカメラ内部の黄色の位置合わせマークを合わせます。
❸まっすぐ落とし込むように入れます。
❹裏ぶたを閉めます。

＊裏ぶたはひといきで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めすると、フィルムが感光する恐れがあります。

3 POWERボタンを押して電源を入れ、シャッターボタンを押します。フィルムカバーが排出されますので、取り除いてください。

4 フィルムカウンターに"10"が表示されたことを確認してください。

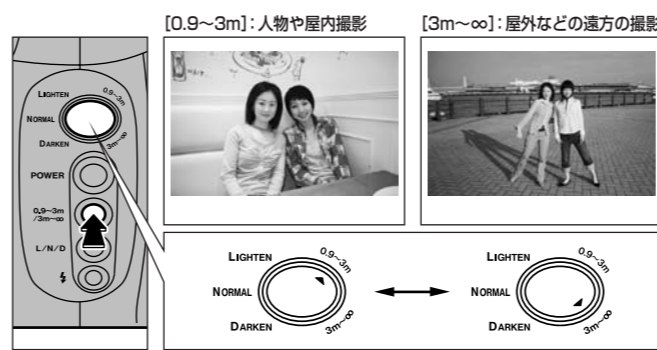
＊電池を入れる前にフィルムパックを入れると、フィルムカウンターが誤作動することがあります。
＊フィルムパックをセットした後は、裏ぶたを開けないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

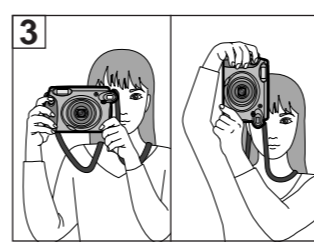
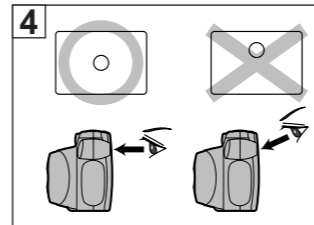
3 いよいよ撮影です

1 電源を入れます。

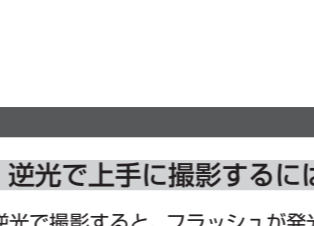
電源を入れたときの設定

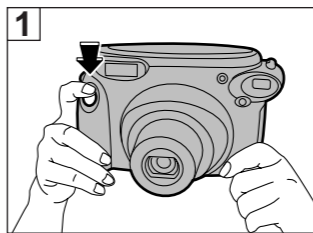
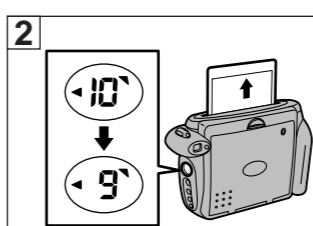
撮影距離	[0.9～3m]
濃淡コントロール	[NORMAL]
フラッシュ	自動発光

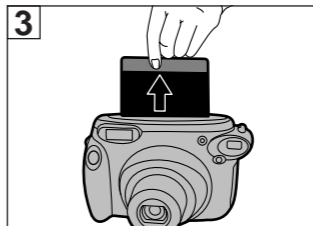
＊電源を入れ直すとこの設定に戻ります。
＊電源を入れたまま約5分間放置すると、電源は自動的に切れます。

2 撮影距離切り替えボタンを押して、撮影距離を設定します。

[0.9～3m]：人物や屋内撮影　[3m～∞]：屋外などの遠方の撮影

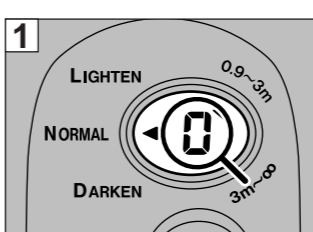
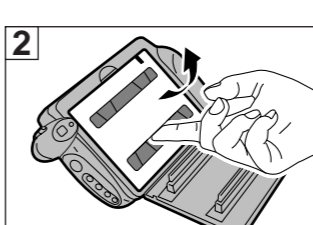
＊最短撮影距離は0.9mです。
＊フラッシュ光が届く範囲は、0.9～3mです。
＊シャッターを切っても設定は変わりません。
＊その他の設定についての詳細は下段の「きれいに写すためのテクニック」をご覧ください。

3 カメラを両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

＊指やストラップなどが、撮影レンズやフラッシュ受光窓、AE受光窓に掛からないようにしてください。

4 真正面からファインダーをのぞきます。
ファインダー内の○が画面中央に見えるように構えてください。

＊○が中央からずれていると、見える範囲と写る範囲にズレが生じます。

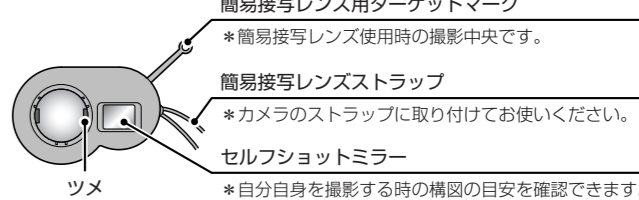
4 シャッターを切ります

1 静かにシャッターを切ります。
＊フラッシュ充電中表示ランプ（赤）が点灯しているときはシャッターが切れません。

2 フィルムが送り出され、フィルムカウンターの数字が1つ減ります。

＊フィルムが送り出されるときに、フィルム出口を指などで絶対にふさがないでください。

3 モーター音が止まってから、フィルムの先端を持って取り出します。

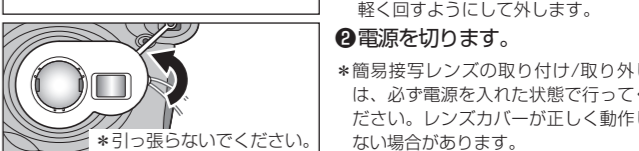
＊撮影したフィルムは、その都度取り出してください。

5 フィルムパックを取り出します

1 最後の1枚を撮り終わると、フィルムカウンターに"0"が表示され、シャッターが切れなくなります。

2 裏ぶたを開き、フィルムパックを取り出します。

もっと近づいて大きく写そう

もっと近づいて大きく写したいときは、簡易接写レンズを使います。簡易接写レンズを取り付けると、被写体から40～45cmの距離で撮影することができます。

❶電源を入れます。
❷簡易接写レンズを取り付けます。
ツメが左右になるようにして、真っ直ぐには め込みます。
❸撮影距離切り替えボタンを、[0.9～3m] に設定します。
❹レンズの先から被写体までが40～45cmの距離になるようにカメラを構えます。
❺ファインダーをのぞき、簡易接写レンズ用の撮影中央を目安にして構図を決めます。
＊簡易接写レンズ使用時には、ファインダーで見える範囲よりも左上にずれて撮影されます。
❻シャッターを切ります。

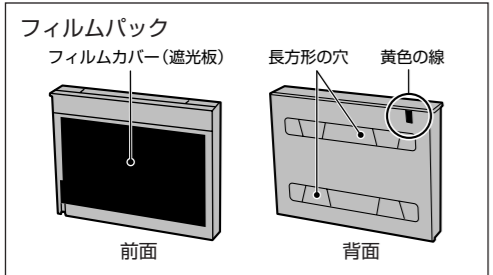
■終了するときは
❶簡易接写レンズを外します。
軽く回すようにして外します。
❷電源を切ります。
＊簡易接写レンズの取り付け/取り外しは、必ず電源を入れた状態で行ってください。レンズカバーが正しく動作しない場合があります。

＊引っ張らないでください。

セルフショットミラーを使って自分自身を撮影しよう

自分自身を入れて撮影したいときは、セルフショットミラーを使います。セルフショットミラーで構図を確認しながら、撮影することができます。

両手でしっかりとカメラを持って、レンズの先から顔までが40～45cmになるように構えて撮影します。

使用するフィルム

■フジフイルム インスタントカラーフィルム instax（他のフィルムは使用できません）
＊フィルムパックには1枚の黒色のフィルムカバーと10枚のフィルムが収納されています。
＊フィルムパックはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。

フィルムパック

＊フィルムカバー、背面の2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。

使用する電池

■単3形アルカリ電池（LR6）1.5V 4本
（必ず4本とも、新しい同じ銘柄・種類のものを使用してください）
●フィルムパックを入れる前に、必ず電池を入れてください。
＊新しい電池で約10パック撮影できます(当社試験条件による)。
＊寒冷地では電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。

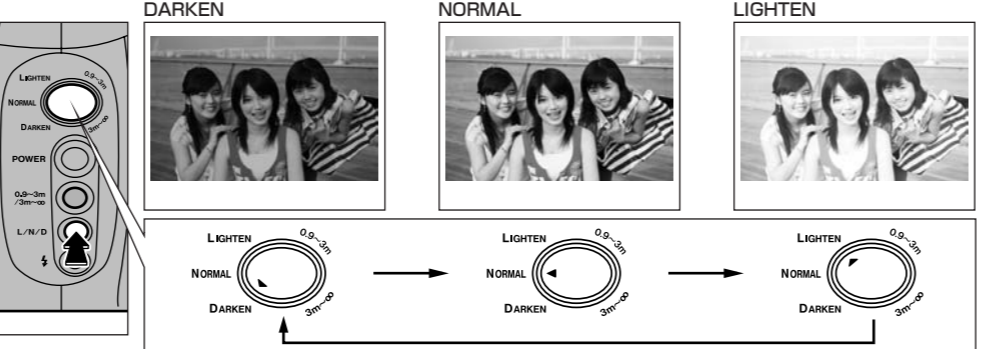
使用できる電池	◎	アルカリ電池
	○	リチウム電池
	△	マンガン電池（撮影可能枚数が極端に低下します）
使用できない電池	×	Ni-Cd電池

★電池の交換時期
①電源を入れても、レンズ部が動かないとき
②フラッシュの充電に約30秒以上時間がかかるとき
③シャッターが切れないとき
＊4本とも新しい電池に交換してください。

きれいに写すためのテクニック

濃淡コントロールの使い方

濃淡コントロール切り替えボタンを押して、濃淡を設定します。
☞下図の矢印の順に切り替わります。
●写真の濃淡の度合いは、周囲の明るさの状態や気温などに影響されます。
●出来上がった写真の濃淡の度合いにより、濃淡コントロールを調節してください。
＊シャッターを切っても設定は変わりません。

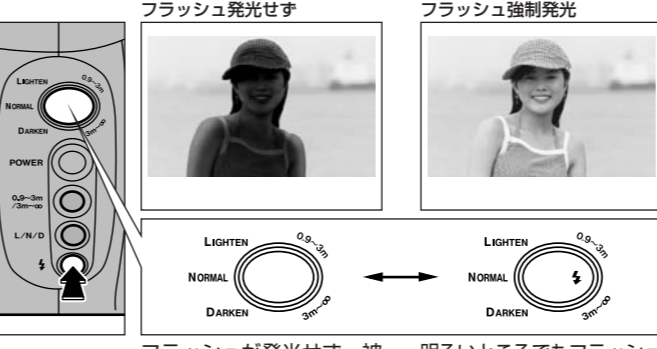
DARKEN　NORMAL　LIGHTEN

暗めに撮影されます。被写体が白っぽく写ったときに設定してください。

通常はこの設定で撮影します。

明るめに撮影されます。被写体が暗い感じに写ったときに設定してください。

逆光で上手に撮影するには…

逆光で撮影すると、フラッシュが発光せず、被写体が黒っぽく写ることがあります。このようなときはフラッシュ強制発光モードにします。
☞フラッシュ強制発光ボタンを押すと、自動発光／強制発光が切り替わります。
＊フラッシュ光が届く範囲は、0.9～3mです。
＊シャッターを切っても設定は変わりません。

フラッシュ発光せず　フラッシュ強制発光

フラッシュが発光せず、被写体が影になり、黒っぽく写ることがあります。

明るいところでもフラッシュが発光し、被写体がきれいに写ります。

フラッシュを上手に使うには…

■鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるときは…
少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。

■二人以上の人物を撮影するときは…
カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にフラッシュ光が当たるようにして撮影しましょう。

便利に楽しくお使いいただくために

■焼き増しや引き伸ばしもできます

お近くの写真店で"チェキプリント"とご相談ください。

■書き込みができます

水性以外の筆記用具で写真の余白に書き込みができます。

フィルムや出来上がった写真を取り扱うときは…

●写真の仕上がり
+5℃から+40℃の温度でご使用いただくと、よい写真が得られます。
＊気温が低い場合は、すぐに上着のゆったりしたポケットの中などで約30秒間温めてください。
＊極端に熱いところに置かないでください。（熱い砂やコンクリートの上・ストーブの近くなど）
＊画像が出来上がるまでは直射日光を避けてください。
＊撮影後の写真を扱うときに、画面内を押さえたり、折り曲げたり、振ったりしないでください。

美しい写真は、"初めの30秒間の温度" が大切です。

●フィルムが残っている状態では、絶対に裏ぶたを開けないでください。
☞フィルムが感光する恐れがあります。
☞フィルムカウンターがリセットされ、正しい撮影可能枚数が表示されません。

⚠ 注 意

●このフィルムの内部には、黒色の腐食性（高アルカリ性）の液が含まれています。撮影後、約10分間でアルカリ性は弱まりますが、扱うときは、次のことを守ってください。

万一、この液が皮膚や衣服などについたときは、速やかに水で十分洗ってください。また、目や口に入った場合はただちに多量の水で十分洗った後、医師の診察を受けてください。